

令和4年2月吉日

東久留米市新川町自治会 会員の皆様  
および 東久留米市新川町 地域の皆様

東久留米市新川町自治会  
会長 西川哲夫



## 『安否確認訓練』実施について



日頃より自治会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

毎年、当自治会では災害時を想定し、『災害時安否確認ボード（以下、安否確認ボード）』を使用した『安否確認訓練』を実施いたしております。

簡単な訓練ですので、皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

詳細は以下のとおりです。

### ◆『安否確認ボード』

『安否確認ボード』を会員全世帯にお配りします。**災害時すぐに出せる場所に保管**してください。

また、**毎年の訓練で必ず使用します**ので大切に保管してください。

もしも、**紛失や破損された場合**は有料で再発行いたします。自治会役員までお申し出ください。



### ◆訓練実施に至った経緯

かねてより新川町自治会では、「**防災講演会**」や「**救急処置講座**」などを自主開催してまいりました。また、自治会所有の『**防災倉庫**』に**水や食料などの備蓄品**を常備し、災害時に備えて管理を行っています。

昨今の災害事情において、「もっと他に出来ることはないか」と市の防災防犯課の方にご相談いたしましたところ、災害時における『**安否確認**』が**地域の初期活動として大変重要**なことがわかりました。近隣の自治会でも『安否確認ボード』を使用した訓練をされているとお聞きし、当自治会でも実施することといたしました。

### ◆なぜ『安否確認』が大切か

阪神・淡路大震災では、倒壊家屋から救出され生き延びることができた人の**約 8 割は家族や近所の住民等によって救出された人**で、残りの**約 2 割は消防、警察及び自衛隊等の行政から救出された人**という結果が出ています。国や自治体からの「公助」はすぐに私達のもとには届きません。そのため、災害による被害を軽減するためには、**私たち自身による「自助」**とともに、**普段から顔を合わせている地域や近隣の人々の協力「共助」**が重要となります。

『安否確認ボード』の掲示は、**近隣の相互協力によって助けを必要としている方を速やかに見つけ、支援するための手段**です。東日本大震災の際、ある地区では『安否確認ボード』を利用して町内会住民全員の安

全を確認した地区がありました。この町内会では日頃から安否確認訓練を行っていたため、1時間以内の短時間で全員の安否確認ができたようです。こうした成功事例をうけて、「確認ボード」や「ハンカチ」を利用した**安否確認の取り組みが全国的に広まっています**。万一の災害時、確認ボード掲示が減災へと大きく繋がることとなりますので、皆さまの訓練への参加をお願いいたします。

#### ◆『安否確認ボード』掲示の目的

『安否確認ボード』は、**プライベートを守りつつ外部に自宅の状況（安否）を知らせるためのもの**です。『**黄色面/無事です**』を掲示することで、「この家の中には助けが必要な人はいません」「この家の安否確認は不要です」と**自らの無事を知らせます**。救助が必要な場合は、『**赤色面/救助求む**』を掲示することで**近くの方に助けを求めることができます**。隣家で救助が必要な方がいらっしゃった場合にも、協力を求めることができます。

『安否確認ボード』が掲げられていない家は、外出中など家の中に誰もいない場合か、**家の中に救出が必要な人がいる場合**と考えます。

『安否確認ボード』を掲出することで、救出が必要な人をいち早く見つけることを目的としています。

#### ◆ 実際に大地震が起きたときは

1. 家にいる**家族みんなの無事を確認**します。
2. 家族が無事なら、『安否確認ボード（黄色面）』を表にして掲げます。  
救助を求める場合は、『安否確認ボード（赤色面）』を表にして掲げます。  
いずれの場合も、**門扉や玄関ドアの外ノブ等の外から見やすい場所**にしっかりと掲示します
3. 地震発生時に留守だった場合は、帰宅後直ちに『安否確認ボード』を掲げます。
4. 『安否確認ボード』は、**地震発生から3日間掲げたままに**します

#### 『安否確認ボード』を掲示する地震の大きさの目安

原則は『**東久留米市内で震度5強以上が観測された場合**』『**防災無線から放送が流れた時**』等になります。停電など情報収集が難しい場合もありますので、**ご自身が危険と感じる大きな揺れが発生したら積極的に**掲示するようにしてください。

#### ◆「自治会でできることはなにか」「自分たちができることはなにか」

災害はいつ起こるかわかりません。班長も役員も、まず自分自身と家族を守らなければなりません。個人でできることは限られています。起きたときに慌てないため、日頃からリスクを想定し、地域コミュニケーションをはかり、今できることを今やっておかなければなりません。「公助」だけに頼らず、「自助」「共助」で地域一体化し、会員の皆さまと一緒に、いつ起こるかわからない災害に備えることが大切です。

『安否確認ボード』を利用した安否確認訓練は、その第一歩として取り入れました。

また、防災の知識を知っておくための自治会主催『防災講座』や、東部第二分団自治会連合会主催『**二小避難防災訓練**』に積極的にご参加ください。

防災についてご意見やご提案などございましたら、当自治会までお知らせください。

今後ともご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

## 安否訓練の流れ

～～当日（2/20）～～

12時00分

全世帯

- ◆災害発生を想定し、午後1時まで『安否確認ボード』を門扉または玄関ドアの外ノブ、表札などの場所に掛ける。
- ◆風でくるくる回らないように工夫しておく。

午後1時00分

見守り隊

- ◆班長、役員、参加者は 集合場所に集合。
- ◆『防災訓練』を実施後、班に分かれてパトロール開始。
- ◆『安否確認ボード』の有無を確認し地図にチェックする。  
『安否確認ボード』が出ていない会員宅や「救助求む（赤表示）」の会員宅は、ピンポンを鳴らして安否（事情）を確認する。
- ◆水害や防犯上危険な箇所などがあれば地図に記入。

午後2時30分～

見守り隊

- ◆各班パトロール終了後、集会所（サンライズ2階）に集合。
- ◆班ごとに報告、反省点などの意見交換。
- ◆報告が終わった班は解散。

午後3時00分

見守り隊

全世帯

- ◆全班が解散後、訓練終了。
- ◆各世帯掲示した『安否確認ボード』の取り外しをする。

【対象者】

全世帯

会員全世帯及び加入希望の未加入世帯

見守り隊

班長、役員、パトロール参加者

※当日外出される場合は、出掛ける前に『安否確認ボード』を掲示してください。

※長期間ご不在の方や当日の帰宅時間が遅い方は不参加で結構です。その場合は、事前に班長にご連絡をお願いします。